

1. 略歴

1994年3月	東京大学文学部国史学専修課程卒業
1996年3月	東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻修士課程修了
1999年12月	東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻博士課程単位修得の上退学
2000年1月	日本学術振興会特別研究員 (PD)
2003年3月	博士 (文学) (東京大学) (博人社 390号)
2004年4月	宇都宮大学教育学部助教授 (社会科教育講座)
2007年4月	宇都宮大学教育学部准教授 (同)
2011年4月	東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

日本近世史

b 研究課題

近世前期を中心に、土地制度、身分と身分制、商品流通などの観点から近世社会の特質を検討している。

c 概要と自己評価

これまで主として農村部 (在方) における土地制度、百姓・商人・その他の身分やその集団のあり方、権力による土地・身分政策について検討してきたが、農村部とは区別・分離された都市部 (町方) における土地・身分政策や町人・商人のあり方については深く分析してこなかった。この点を反省し、上方と江戸において近世的な城下町、町人や商人が形成されてくる過程と特質を考察した。部分的ではあるが、自分なりに視野の拡大を果たすことができたと思う。

d 主要業績

(1) 著書

共著、清水光明編、牧原成征ほか、『「近世化」論と日本』、勉誠出版、2015.6

編著、牧原成征ほか、『近世の権力と商人』、山川出版社、2015.11

(2) 書評

藤田和敏、『近世郷村の研究』、『日本歴史』、796、2014.9

高木昭作、『日本近世国家史の研究』、『歴史学と、出会う—41人の読書経験から—』、2015.5

(3) 学会発表

国内、牧原成征、「近世的社会秩序の形成」、日本史研究会例会、京都大学、2015.1.10

(4) 会議主催(チェア他)

国内、「史学会大会」、実行委員、2014.11.9～2014.11.10

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、慶応大学文学部、「日本史特殊」、2014.4～2015.3